

大阪フロイデニュース

Freude

vol.10 -1 2017. 7.5 .wed

大阪フロイデとある10回目の
ステージ2-みよ!! 楽しんでみる2-は。
のベートーヴェンと多くの仲間ととも!

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B
ホームページ <http://www.osakafreude.com>
メールアドレス info@osakafreude.com

ベートーヴェン「ハ長調ミサ」のはじまりはじまり!

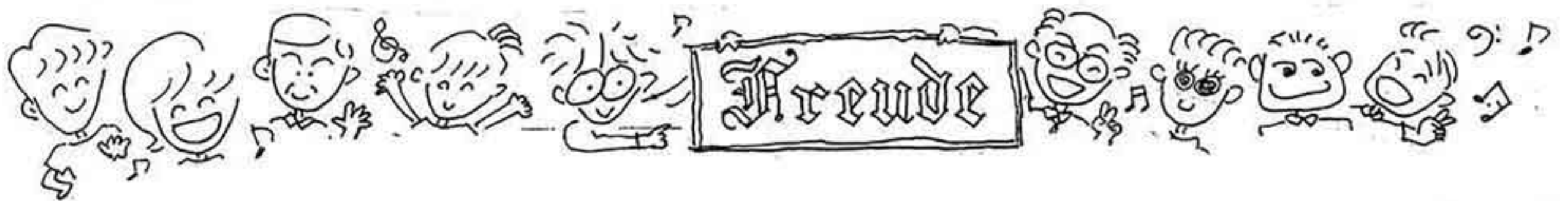
6/21はおつかれさまでした。いろんなスリルに満ちた練習期間、なんどもハラハラしましたねえ、ギリギリまで「え?」「うっそー」「ひゃーっ」……ほんと、おつかれさまでした(^O^)/

さあ、ベートーヴェンのはじまりはじまり! ホンマにホンマに、ステキな曲ですっ!

さすが「傑作の森」と言われる、充実期の作品。ベートーヴェンのエネルギーが、ぐんぐん湧いてくる感じ。ありとあらゆる音楽が、詰まってる感じ。

まずは、たくさん仲間を集めたい! 知り合いで、音楽好きの方はもちろん、そうじゃない方にも一度、声掛けてみよう! 大阪フロイデの魅力は、一つじゃないもんね。音楽の楽しさはもちろん、他じゃ出会えないバラエティに富んだ人々に会える、とか、会場設営など(ふだんのお仕事とか関係なく) みんなで作ってる“部活感”、とか、怒られるのが悔しいからなくそっと頑張って頑張った達成感とか、「やりがい」のタネがいっぱいありますっ! なんかやってみたい方、仕事以外の場所を見つけてみたい方、「ひとりじゃできないこと」をやってみたい方、単純に水曜日の夜時間ある方。声掛けてみたら、意外と興味を示してくれるってこともあるよ! それに、ベートーヴェン&合唱と言えば「第九」。「一万人の第九」をはじめ、「第九」経験者は多いよね、第九以外のベートーヴェンをうたってみたい、っていう人も多いと思うけど、有名なミサソレは、長さ的にもちょっといきなり難曲感アリアリですが、ハ長調ミサ、いいんじゃないかな!

練習初期は見学(一緒にうたう体験見学!)も可能だから誘ってみて! 気軽にお試し! やっぱり、いろ～んな意味で、たくさんの団員でとりくみたい! 一人が一人、声掛けよう!



7/12(水)

18:30~

七尾江
ホール

7/19(水)

18:30~

七尾江
ホール

7/26(水)

18:30~

此花区民
(阪神「千鳥橋」)

男声
女声に
分かれ
練習あり!

1) 音楽会振り返り

① 団員数

	ソプラノ	アルト	テノール	バス	合計
前回からの継続数	20	38	10	9	76
募集締切時	23	39	10	10	82
最終ステージ人数	19	35	10	9	73

結局新団員は1名のみ。とある。モーツァルトやシューベルトでは新しい知名度の作品のときは、何か宣伝のしつこさもうひてくふうをせよわは...!

② チケットの販売実績と入場者数

◆ チケット代は、団内、S4500円、A4000円、(チラシ価格は、各500円増し)、団内最低ノルマS3枚

	S席	A席	合計
全席数	705	116	821
招待	6	0	6
団内拡大数	669	65	734
外部からの申込	12	2	14
当日窓口	1	3	4
申込合計	688	70	758
残席数	17	46	63

	前シユシユ	前々モツモツ
全席数	686	815
招待	689	820
入場者数	609	733

連日BAにたこやちび200席たたく!!! とロビ。お互いにや、2つは出さあおう! 出しもら、7.1もあそ7.1ポイントを出して7.1に。7.1の...!

	S席	A席	合計
入場者数	620	61	681
うち招待者	6		6

団内予約のうち、先生方の予約13枚。団員分は745枚。団員平均は9.8枚
パート平均では、S6.8(4.9)枚、A10(8.9)枚、T11(7.3)枚、B12(9.3)枚 →カッコ内は前回
3枚団員14名(前回は24名) 5月末に、みんなのアイデアを共有して、全体でがんばろう! となってよかった。

③ 打上パーティ・参加人数合計37人⇒有料:34人 招待3:亀井先生・田中先生・石橋先生

・総額:135,000円(収入136,000円、黒1,000円→団会計に算入)

④ 反省...演奏会、練習、運営、モロモロ。当日出席者の意見+団員振り返りアンケートでの意見より。

● 演奏会(演奏) /

- ・本番の演奏は、お客様の評判もよく、大阪チェンバー、ソリスト、いずみホール、、、演奏会としてよかったと思う。
- ・「ケルビー二の初演」は良かった。演奏回数の少ないものを紹介する役目を果たす団として特徴になるのでは?
- ・ヴィヴァルディは、石橋先生、福原先生の存在感がすごかった。特に福原先生ワールドがすばらしかった。
- ・大阪チェンバーに感動。オケ合わせ、ゲネのときなど、演奏をよくするために質問したり声をかけたりする姿に感謝。
- ・お客様の中には「ミサ曲ばかりではなく、ほかのも」という声もある。実際、規模と状況で適切な選曲となると限られる。フロイデでは「オーケストラと一緒に「憧れの」ホール」は、死守したい。となると、作曲されたものを見ると「ミサ曲」が多い。今回の曲も「ミサ」の固定観念を打ち破る楽しい音楽だったので、宣伝時に、音楽自体の楽しさをアピールできるとよい。
- ・「ケルビー二の初演」は良かった。演奏回数の少ないものを紹介する役目を果たす団として特徴になるのでは?
- ・合唱団の最前列が平場だったので、お客様からよく見えない、最前列も段に乗れないか? という声もある。ただ、段をあげると、それなりの奥行の段になり、その分、オケを並べる面積が減ってしまう。今回のような大編成オケでは、合唱団の並びギリギリまでオケを並べないと、ステージに乗らない。編成が大きな曲の場合はやむを得ない。

● 演奏会当日のこと(演奏以外のモロモロ、事務方その他) /

- ・チラシ挟み込み作業や、ロビー片付け作業など、スムーズだった。事前に具体的に担当者を決めておいたのがよかった。ただし、チラシ挟み込み時に、あらかじめ決めていた担当責任者と違う方針を出している人が居たようだ。作業方法の違う考え方もあるでしょうが、限られた時間の中で方針を一元化するべく担当責任者を決めているのだから、団として決定している担当責任者の方針に、みんな協力すべき。
- ・笠置さんやOBOGに、いろいろ頼んで裏方で動いてもらった。安心して演奏できた。ありがたかった。

● 練習面（本番の演奏に至るまでのこと含む）／

- ・ 後半で、男声できていないのが甚だしく、そこから、パート練習を増やしてくれたので、やっと音がわかった。最初の段階で、譜読みを叩き込む目的でのパート練習をやってもらえるとよい。（ベートーヴェンではその予定です）
- ・ 女声の田中先生練習で、繰り返し同じところを練習して声を出すときのイメージを教えていただいたのがよかった。田中先生が、歌うときのイメージの持ち方など、亀井先生の指摘への対応を、歌い手側のコトバで説明して指導していただけたので、少し道が開けた気がした。テクニックもそうだが、気持ちで声が変わることを発見した。
- ・ パート練習は、ありがたかったが、練習後半での全体練習が少なかったので、「ほかのパートの音を聴いて自分の音を取る、他パートと自分のパートのメロディの関係を感じる」などのことが、できてなくて、最後まで音楽像が見えなくて、ハラハラした。今回は、男声の仕上がり具合から、後半であってもパート練習が必要だったが、やはり、パート練習はシーズン前半で音を叩き込んで、後半は全体練習で、聴きあう練習をもっとできるとよい。
- ・ ステージシート後は、練習時からステージシート通りに立つように。ソプラノとアルトが食い込んだ配置になっているが、ステージシートが出てからの練習でもパート練習だと、ピアノの周りに寄って練習することが多く、結果的にオケ合わせあたりで初めて、ソプラノの後ろにアルトが立つことの歌いにくさ（アルトソプラノとも）を知った。シーズン後半は、ステージシートの聴こえ方に慣れる意味でも、全体練習できちんと並ぶ、のがよいと思う。
- ・ 前回ほどではないが、今回も、練習時のテンポと本番のテンポが違って、とまどった。音楽は生き物なので、テンポは変わるものだと思うが、それなら、練習時に、いろんなテンポで歌う練習をしていただきたい。
- ・ 楽譜を持ったのは、よかったが、女声への楽譜持ち指示を、もう少し早くしていただきたいかった。指揮を見ながら楽譜をチラ見するタイミングなど、何回か練習する中で身につけてから、本番に臨みたかった。結局、「楽譜を見るか」「指揮をずっと見るか」しかできなかった。楽譜を持つなら、「チラ見する練習」は、せめて、あと練習2回分くらいは、ほしかった。（女声は、6 / 18、19、ゲネ、のみ）
- ・ もっと「必死」になるように。先生の指摘を、その場でパートで確認しあうなど、自主的な念押しをするなど。
- ・ 団員のエンジンがかかるのが遅い。連休明けで、本番まであとひと月というところで、全く音楽になってなかった。ただ、その後の大車輪はすごかった。結局、もっと最初から本気になっていれば、だいぶ違っていたはず。
- ・ 8ヶ月の練習期間では短すぎる、という意見もある一方、モチベーションが落ちた時期、だれた時期があったという団員も。練習の質を高めるのは、自分自身。それを、団員同士、パートで、支えあえるようにしたい。
- ・ 他パートや誰か、が、先生に指摘されている際の、団員の態度がよくない。自分にもあてはまる指摘として、集中すべきだし、ましてや、指摘されている人を笑ったりするなど、非常に感じが悪く傷つくものだ。

● 運営面／

- ・ フェイスブックを始めたのはよかった。「関西初演」の宣伝は、フェイスブックが活躍した。問い合わせも多かった。
- ・ チケットが5 / 30時点では、本当にやばかったが「自分の工夫」を団員がそれぞれに書いたものを、共有する、ということをしたこと、や、収支予想に対してショートの危機を、説明したことで、団員みんなが危機感をもって、がんばったので、最後の追い込みがすばらしかった。ピンチを切り抜ける手段は、団員の中にヒントあり、ちゃんと共有すれば成果が出る、ことを感じることもできた。
- ・ 団運営で動いてくれる人をもっと広げたいが、できていない。神戸フロイデでは、部活方式にして、誰もが必ず何かに携わる、という方法を試みているようだ。大阪でも取り入れてみたい。
- ・ 名鑑は「番号末尾のグループ」での作成にこだわらず、いろんなバリエーションで、より、楽しく、お互いのことがわかる作り方を工夫したい。
- ・ 番号末尾でのグループで集まる、というよりは、練習後の確認を短時間ででもできるよう、水曜日（に）

● 収支面／

- ・ 演奏会は、最後のガンバリは素晴らしかった。ただ、満席にならなかったのも、赤字にはなりそう。日常収支は、75名（本番は73名だが、うち2名は、直前でのリタイアなので、団費は完納）なので、完全に赤。
- ・ ただ、一応、ホール代等の前払い用にプールしている運転資金を食いつぶすには至らなかったのも、次期も、団費等、同じ体制ですすみたい。（逆に、団費を上げると、団員減少にもなりかねない）
- ・ 演奏会収支ではチケットを完売する、日常収支では団員数を増やす。これを、やはり、やっていきたい。家族割引（二人目は3000円）、学生割引（3000円）。中学生高校生（1000円）、も前面に出していく。
- ・ 他団で、経費をかけた宣伝を（チケットを大量にタダで配るなど）しているところもあるようだ。どのような運営でそんなことができるのか、参考になることは、検討してもよいと思う。そういった情報も集めてみよう。

（パートで集まることも試みてはどうか。）

2) これからの取り組み

- 日程 2018年2月15日(木) いずみホール ・オケ合せ：2月14日(水) どっか区民ホール
- 曲目 ベートーヴェン「ミサ曲 八長調 作品86」
- 出演 大阪チエンバーオーケストラ、独唱：S/白石優子、A/山田愛子、T/清水徹太郎、B/田中由也
- 団員数→継続/S19+A36+T9+B9=74
新規申込者→現在、1名。問い合わせは2名。前回のシーズン中の問合せ者2名
最低ラインは87名！なんとしても！
- 練習会場→団を維持するには、アルテも使って行かないと難しい。此花区民の「第4 & 5会議室」、小田公民館なども。
- 販売物→ 楽譜/ベートーヴェン2500円 練習CD/500円
- おおまかな運営関係日程予定
 - 新人歓迎懇親会：8/6の練習後・予定
 - 団総会（運営委員承認・会計報告・収支予想報告）：8/6の練習後・予定
 - 運営アンケート：今回から「部活」として、役割ごとのチームを設け、全員が、どれかに属して動いてみる。
無理のない範囲で、できることを、工夫しあいながらやれると、もっと楽しくなるはず！
「部」の設定案を現在検討中。アイデアがあれば、団長まで。
 - 名鑑づくり：これまで番号末尾のグループで行ってきたが、くりを工夫して、新しい集まり方を考える予定。
 - パートミーティング：日曜練習のときのみ行ってきたが、水曜でも、その日の先生の指摘を確認するなど、
また、休みの人のフォローを相談する、等、さっと集まる、ということをやってみる。

● 団員募集のために！

・チラシまき

日時	開演	集合	ホール	演目
7/8(土)	14:00	15:30	シンフォニーホール	日本センチュリー定期 シューマン：チェロ協奏曲ほか
7/8(土)	14:00	15:30	いずみホール	エコーきさらぎ 45周年記念コンサート

安里さん
徳田さん
三島さんか
音頭さん
くわーあ！

- ・チラシを置こう！
- ・ネットで拡散しよう。HPの閲覧回数を増やそう！
- ・知人を誘う。とにかく来てもらおう。ベートーヴェンファン、第九ファンに、「ベートーヴェンの新発見！」と勧める！
- ・中学生高校生団員勧誘特別企画「中高生なら団費1000円！」
高校や中学にチラシを貼ってもらうのは難しいので、まず団員に呼び掛けて、お孫さんお子さんなど、誘ってください！

● 次回運営委員会 2017年8月4日(金)

次々回運営委員会 2017年9月2日(金)

これは5/17に
7月にモカも大センテ.のとき
各自が「干拓」や団員ボシ2-の
アパ-トを7-とま.書い
くち-もの?
置ま-行、2(4)いると3への
様子見はモテロン.「干拓」
置い-もらう」ことま-し、い
アタ! 干拓を干拓.に
動い-みよう!!

- 募集チラシをここに置きに行った
 - ・生野区民センター、東成区民センター(S姜)・クレオ東(A宇野)
 - ・大阪市立生涯学習センター梅田(T杉田)
 - ・大阪市教育会館(大阪府中央区)(A竹田)
 - ・大阪市立図書館本館・大阪市東成図書館・
大阪市立福島図書館・大阪市立此花図書館(B三島)
 - ・尼崎ピッコロシアター・あましん・アルカニックホール
 - ・尼崎市小田公民館・尼崎市立図書館本館(B三島)
 - ・伊丹アイフォニックホール・伊丹ホール・伊丹市立図書館本館
 - ・西宮市大学交流センター(B三島)
 - ・クロサワバイオリン(大阪駅前第4ビル)(B三島)
 - ・やすだ歯科(JR尼崎駅前)(B三島)
 - ・美容院(A範園)・近所的美容室(A定森)
 - ・ホンダ名神店(定期点検時、営業マンに依頼)(B三島)

5/31に
ニ-2に
干拓
の
か
ら
...